

トピックス TOPICS

新刊・近刊紹介

『機械学習—データを読み解く アルゴリズムの技法』

ピーターフラッハ著

監訳：竹村彰通

訳：田中研太郎／小林 景／兵頭 昌／片山翔太
／山本倫生／吉田拓真／林 賢一／松井秀俊
／小泉和之／永井 勇

朝倉書店

解説

朝倉書店より、機械学習関係の本の翻訳の監修を打診されたのはもう5年ほど前になる。この本は評判がよく翻訳に値するのではということだったので、内容を検討した。私のバックグラウンドである統計学から見ると、視点の異なる部分が多く、内容が新鮮に感じられた。そこで、編訳者の一人である田中研太郎氏を通じて、各章の翻訳を若手の研究者で主に統計学を専門とする人々に依頼することとした。この本は入門書を意識し、数式を避けて言葉での説明を重視している。しかし、著者の哲学や考え方を表すような文章も多く、翻訳にも苦労した。

翻訳出版の日付は2017(平成29)年3月30日であり、翻訳の完成には3年近くの時間がかかってしまったが、その原因は私自身が滋賀大学での新学部設立の業務のため多忙となり、監訳の作業が大幅に遅れたことが大きい。そのため初校がそろった時点から滋賀大学に着任した松井秀俊氏に編訳者を依頼して、詳しく全体を見てもらった。(竹村)



『統計的因果探索』 (機械学習プロフェッショナルシリーズ)

清水昌平著

講談社

2017(平成29)年5月25日発売予定

解説

この本は、統計的因果探索の入門書です。

統計的因果探索というのは、データから因果関係を推測するための機械学習技術です。私の主要な研究テーマでもあります。データサイエンスに関する理工系および社会科学系の4回生がひとりで、ひとまず最後まで読み切ることのできる本にすることをねらいました。統計的因果探索の概要をつかむために使っていただけたと思います。

また、本書の内容は、私がこれまでに行ったチュートリアル講演が基になっています。例えば、第23回情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)、日本行動計量学会 第40回大会、The 26th Conference on Uncertainty in Artificial Intelligence (UAI2010) などです。その際のスライドは、<http://www.slideshare.net/sshimizu2006>にあります。(清水)

